

現代のインプラント治療を担う歯科医師たちの想い

渡部 サイトはもともと、Q&Aを充実させようというところから始めたいです。「さきがけ」のメンバーは現在、全国に33人いますから、1人が数回ずつ担当すれば1000人分のQ&Aができる。その結果、充実したQ&Aや用語集ができましたので、それを見た出版社の方から声をかけていただいたことは誇りに思っています。

大谷 インプラントについて客観的に説明しているものは意外にないですね。インターネットでも、こちらではいい、あちらではこうと、話が統一されていない。ですから、科学的な根拠で裏付けられた情報をわかりやすく、正しく伝えたい。その気持ちが根底にあります。正しい情報を伝えることによって、治療のトラブルで困る患者さんを一人でも少なくしたいのです。

野々山 もう一つ知っていただきたいのは、インプラントは失った歯の代わりに入れるものですが、

単にインプラントを入れることが治療のすべてではない、ということ。例えば歯周病が原因で歯を失った方が、歯周病の治療をおろそかにしてインプラントだけを入れたとします。すると1年後には隣の歯が歯周病で抜けてしまう。そこにまたインプラントを入れなければならなくなる。我々はそういう、後手後手に回するような治療はしたくないのです。それは患者さんのためにもなりませんから。

渡部 我々が集まったのは、もともと歯周病の治療をベースにしたインプラント治療の勉強会なんです。ですから、歯周病の治療をおろそかにしてはいけないということとを叩き込まれていて、その点は共通のコンセプトとして、メンバーの皆が持っていると思います。

——価格で選ばない、インプラント以外の治療をおろそかにしないことがポイントになるんですね。
ほかに重要な点は？

野々山 治療後のメンテナンスも



インプラント治療は
喜びのグレードがとても
大きいものなんです

副会長 大谷 昌氏

横浜インプラント歯科センター
野々山歯科医院
院長 野々山 浩介
〒220-0051 神奈川県横浜市西区中央1-27-13 吉村ビル1F
TEL 045-312-6404
http://www.nonoyama-dental.jp
当院では20年無料保証です。誠心誠意患者さんの立場で考えたインプラント治療、長持ちする治療をつねに考えています。歯周病、かみ合わせを含めたお口全体から患者さんと一緒に治療の計画を考えます。
自由診療：インプラント1歯31万5000円

インプラント「さきがけ」事務局 大阪府天王寺区上本町5-3-14-1105 ☎0120-118-384(平日10:00~12:00/13:00~18:00) <http://implant-society.com/>

※次頁より会員の歯科医院を紹介しています。

上尾インプラントセンター
わたなべ歯科医院
理事長 渡部 裕之
〒362-0011 埼玉県上尾市平塚1691-8
☎0120-770-463(日・夜線9:30~18:00)
http://www.watanabedental.com
できるだけやり直しのない治療を心がけています。患者様のお話をよく聞き、丁寧に診査を行い、それぞれの患者様に合った治療計画をご提示します。診療台は個室感覚で、リラックスした状態で治療を受けていただけます。
自由診療：インプラント1歯42万~47万2500円

O.D.C. オオタニデンタルクリニック
院長 大谷 昌
〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋2-3-2 御堂筋ミナビル7F
TEL 06-6214-6182
http://www.odc.ne.jp
インプラント治療に特化したクリニックです。信頼性の高いインプラントのみを厳選し患者さまの状態に最適な選択での治療計画をご提案致します。「痛み」「腫れ」「恐怖」をできる限り少なく、そしてわかりやすく説明して、丁寧に治療を進めていくよう心がけています。
インプラント1歯31万5000~47万2500円

特別鼎談

現代のインプラント治療を担う 歯科医師たちの 想い

安心と信頼のインプラント治療の会「さきがけ」



インプラント治療を受ける人が増加したいま、“簡単にできる治療”であるかのような感覚が広まってきているのではないかと感じています。優れた治療であると同時に、慎重に行われるべき治療であることを、正確に情報発信しなければならない。その行動を起こすため、勉強会を通じて知り合った歯科医師仲間が、2008年「さきがけ」を発足した。

——皆さんが「さきがけ」を発足した目的は何でしょうか。

野々山 現在はインターネットで検索することが多くなっていますね。ところが「インプラント」というキーワードで検索すると、なかには、我々からみれば首をかしげたいようなことが書かれているサイトもあります。でも一般の方は、それがすべて正しい情報だと思って読んでしまう可能性が高いですね。

アメリカでは例えばAAP(アメリカ歯周病学会)という、世界的に信頼度の高い学会があり、その学会のサイトが上位に出てきます。そこで信頼度の高い情報を得ることができるとは、日本にもそういう学会はあるのですが、残念ながらインプラント治療に関する情報をわかりやすく伝えていないようなサイトは作られていないと思います。これからはなかなか作られないのではないかと……でも誰かがやらなければいけない……という話で、学会や勉強会で顔を合わせているメンバーの間で持ち上がり、誰しも作らないのなら我々が「他にさきがけ」を作ろうと。それでこの会を発足したんです。

渡部 私たちはインプラント治療を行っている歯科医師の集まりなのですが、もとは同じ勉強会に属している仲間なんです。そこで講演発表などを行っていたうちに、ここに集まったメンバーは本当に患者さんのことをしっかり考えていて、講座などで切磋琢磨し、ある

程度以上のレベルの治療ができる仲間なのだとわかってきました。きちっとした治療をきちっとやっているメンバーのことを正しく評価してもらおうという気持ちも、会の発足の動機の一つになっています。

——患者さんに正しく伝えたい情報とはどんなことですか。

大谷 インプラント治療は、10年前と比べると格段に認知度が高くなりました。それとともに増えてきたのが、トラブルを抱えて来院される方です。インプラントは現在、国内で流通しているものは40種類くらいありますが、「インプラントを他の医院で入れたのだけと具合が悪い」というくらい、確かなメーカーのものではないことがあるんです。安価なコピー品も増えています。認知度は高まりましたが、インプラントにはたくさん種類があり、どれも同じではないことはご存じありません。インプラントが体の一部になって



歯周病治療を怠って
後手後手に回するような治療は
したくないのです

会長 野々山 浩介氏

いくものであることや、「どこでも同じ」というような簡単な治療ではないことも認識していただかなければと思っています。

野々山 インプラントは骨に埋めるインプラント体と上部をつなげるわけですが、10年後に上部が破損したとして、取り替えようとしたときにそのインプラントのメーカーがなくなっていたら、他のメーカーのものでは合いませんから、取り替えられない状態になってしまいます。安いインプラントが必ずそうだとは言えませんが、そういう可能性があることを情報としてまだ伝えられていないと思うんです。患者さんにとって本当に有用なことを伝えられるように、私たちのサイトでは、患者さんからよく質問されることを集めてQ&Aの形でまとめています。また、サイトを見た出版社の方から、このQ&Aを抜粋するような形で本にしたいという依頼があり、先日、出版されました。